



## 環境白書の発行にあたって

本県は、亜熱帯・海洋性気候のもと、サンゴ礁が発達した青い海と貴重な野生生物等が生息する緑豊かな島々から構成されており、「東洋のガラパゴス」と評される豊かな自然環境は、他に類を見ない世界に誇るべきわれわれの貴重な財産であります。

しかしながら、本県は、都市化の進展に伴う廃棄物の増大や生活排水による水質の汚濁、赤土等の流出による河川・海域の汚染、移入種等による生態系のかく乱、米軍基地から発生する航空機騒音等の諸問題を抱えており、地球温暖化の原因である温室効果ガスの排出抑制も依然として進んでおりません。

そこで、本県では、「豊かな自然環境に恵まれたやすらぎと潤いのある沖縄県」の実現に向け、その目指すべき将来像として「循環」「共生」「参加」「地球環境保全」をキーワードとした「沖縄県環境基本計画」を平成15年4月に策定し、様々な環境施策の推進に取り組んでいます。

平成16年度は、県自らが環境に配慮した取り組みを率先実行していくことを目的として、平成17年2月に環境マネジメントシステムの国際規格ISO14001を認証取得しました。

また、廃棄物対策として、県内における廃棄物の適正な処理体制を確保するため、公共関与による新たな管理型最終処分場の整備に取り組んでいます。

さらに、本県の豊かな自然を保全するため、移入種対策として、平成17年度からマングース侵入防止柵を設置するとともに、琉球諸島の世界自然遺産登録に向けた普及啓発活動に取り組んでいるところです。

本県の豊かな自然環境を保全し、次世代へ引き継いでいくためには、県民、事業者、行政等のすべての主体が、環境問題についての理解と認識を深め、協力して環境保全活動に取り組んでいかなければなりません。

この白書は、平成16年度の本県の環境の現状と対策をまとめたものであり、県民の皆様には、本県の環境について理解を深めていただき、環境保全活動に積極的に取り組んでいただくことを期待しております。

平成18年 3月

沖縄県知事 稲嶺 恵 一